

令和2年度 第2回 川崎市総合教育会議

コロナ禍における 学校教育について

令和3年3月22日(月)

1 課題に対する進捗状況

1 課題に対する進捗状況

<主な課題>

学校教育

児童・生徒

- ・学習の遅れ
- ・体力の低下
- ・ストレス等に
対する心のケア 等



保護者

- ・感染症への不安
- ・家庭での学習指導
の負担感 等



学校

- ・教育課程の遅れ
- ・教職員の勤務や
研修に関すること
- ・行事の中止
- ・部活動の休止
- ・感染症対策

- ・家庭とのコミュニ
ケーション
- ・学習保障

社会教育

利用者



・サービス提供

社会教育施設

- ・感染症対策
- ・利用者への周知 等

臨時休業(館)中にみえてきた課題は多岐にわたるが、今後、教育が大きく直面する課題を抽出

<学校教育> ・家庭とのコミュニケーション ・学習保障

<社会教育> ・サービス提供

学校教育

主な課題	課題への対応	進捗状況
学校と家庭との コミュニケーション	迅速な情報発信ができるよう 学校HPのCMS化(※) ※Contents Management System	R3.4から運用開始(予定)
	家庭からの情報を受け取るため、アンケート機能付きメール配信システムの導入	R3.4から運用開始(予定)
	電話の繋がりにくさを解消するためスマートフォンを配備	R2.5にスマートフォンを配備済み
	欠席連絡をオンラインで行うシステムの導入	R3.3から運用開始済み
学習保障 教育機会の確保	対面授業ができない状況においても教育機会の確保ができるようオンライン学習ができる体制の構築	一人一台端末の導入(R3.3)やモバイルルータ(約5,000台、R2.10)の調達等の環境整備済み
		教職員向けに研修等を実施
		各学校におけるオンライン指導に向けた環境の整備

社会教育

主な課題	課題への対応	進捗状況
図書館におけるサービスの提供の停止	図書宅配サービス	R3.4から試行でサービス開始(予定)
	電子書籍の閲覧サービス	R5年度の図書館システムの改修に併せて、導入について検討
	オンラインによるサービスの実施	川崎フロンターレと連携して実施
市民館におけるサービス提供の停止	オンライン講座の開催	各館において実施中
		市民アカデミーにおいても実施中

2 コロナ禍で見えてきたこと

2 コロナ禍でみえてきたこと

◆臨時休業期間中には様々な不安の声・・・

児童・生徒	家庭
<ul style="list-style-type: none">・「勉強が遅れてしまう」・「部活を頑張りたいのに」・「友人に会いたい」・「行事がなくなって残念」	<ul style="list-style-type: none">・「子どもの学力」・「生活習慣の乱れ」・「子育てに関する負担増」・「就労面での不安」



当たり前のように通っていた学校に通えない状況が続き、子どもや家庭において学校が大きな存在であったと改めて認識

学校の役割

◆学習面だけでなく多面的な役割

学習面	学習面以外
<ul style="list-style-type: none">・ 学習機会や学力の保障・ 児童生徒同士の学び合いや実習や実験など様々な場面でリアルな体験を通じた学習の実施	<ul style="list-style-type: none">・ 友人や先生と安全・安心につながるることができる居場所・ 心身の健康を保障する、福祉的な役割も果たす

コロナにより学校がもつ役割を再認識

このような学校の強みを活かしながら、学校再開後は
感染症対策を十分に講じた上で、工夫をしながら
教育活動を実施

3 取組状況

3 取組状況

●感染症対策を講じた上で、工夫をしながら教育活動を実施

(1) 登校



検温カード提出の様子



検温の様子



サーマルカメラ

(2) 校内での取組

◆ 注意喚起の掲示など

廊下にディスタンスの表示



消毒液の設置



ポンプ式の手洗い石鹸の設置



注意喚起



ソーシャルディスタンスの表示



ルールを守る子どもたち



(3) 授業①

タブレット端末等ICT活用など、創意工夫を凝らして協働的な学習を実施している事例



(3) 授業②

体育や音楽の授業でもソーシャルディスタンスに配慮しながら活動



蜜を避けるため細かくラインを引き、動く範囲を制限したドッジボールを行っている様子



体育館で間隔をとって楽器の演奏

(4) 給食

感染症対策を実施しながら、給食を準備し、喫食

使い捨て手袋を装着



シールドを設置し喫食



給食前の手洗い



(5) 放課後

児童生徒がよく手を触れる箇所を中心に、消毒を実施



階段の手すりの消毒の様子



ドアノブの消毒の様子

(6) 心のケア

- ・臨時休業期間中・・・学校において、児童生徒の心身の健康状況の把握
- ・R2.5.22 学校再開ガイドラインで児童生徒の心のケアについて、適切に対応するよう各学校に周知
- ・学校再開後・・・学校では、個別面談を実施する等、子どもの様子を丁寧に確認して、きめ細やかに対応し、不安の解消に努めてきた



多くの子どもたちは、コロナの影響を受けつつも、たくましく過ごしているが・・・

コロナの影響により子どもをとりまく環境が変化

- ・コロナへの不安から登校を見合わせている児童生徒
- ・漠然とした不安感やストレス

4 コロナが長期化していることでの影響

4 コロナが長期化していることでの影響

◆学校運営における制限

(1) 学習 … グループでの活動、合唱等の活動等

例) マスク着用の上、人がいる方向に口が向かないよう歌唱等

(2) 学校行事 … 入学式、卒業式、宿泊行事、校外学習等

例) 参加人数の制限や座席配置の工夫等

(3) 部活動 … 活動場所、活動時間、対外試合等

例) 校内での活動に限定、県大会等への参加は最小限での人数等

◆子どもをとりまく環境の変化によるストレス

(1) 漠然とした不安感やストレス

… 学校や家庭等での楽しみにしていたイベントの中止など

(2) 家庭環境の変化による(大人から受ける)ストレス

… 大人がストレスを抱えることで、子どもは敏感に察知

児童生徒等の状況の変化

現場の状況やデータでわかる主な状況を抽出

(1) 児童・生徒の登校状況

(2) 就学援助の状況

(3) 相談内容

(1) 児童・生徒の登校状況①

●コロナへの不安から登校を見合わせている児童生徒

	令和2年6月1日 (学校再開時)	令和2年6月26日 (通常授業再開時)	令和3年1月12日 (緊急事態宣言発令に伴い調査再開)	令和3年2月19日
小学校	290名	73名	1,042名	168名
中学校	43名	11名	189名	93名

※入学試験を控え、登校を見合わせているケースが増えている

(1) 児童・生徒の登校状況②

●市立小・中学校における不登校児童生徒数

	小学校	中学校
令和2年度	593人	1,111人

※調査対象期間 R2.6.1～11.30

※年間30日以上欠席の見込みの者を含む

(参考) 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

年度	小学校	中学校
令和元年度	700人	1,389人
平成30年度	529人	1,338人

(2) 就学援助の状況

● 過去3年の推移

年度	児童生徒数(人)	認定者数(人)	認定率(%)
令和2年度	103,836	12,435	12.0
令和元年度	103,590	12,427	12.0
平成30年度	102,818	11,729	11.4

※令和2年度は令和3年3月2日現在の数値

※年度途中の家計急変を含め、申請は随時受付をしている

コロナを理由に申告
された件数抽出

	申請者	認定者
R2年度	167	99

※令和3年3月2日現在の数値

(3) 相談内容

◆コロナ禍における子どもや保護者の声

(学校や教育相談室等に寄せられたもの)

●主な内容

- ・登校を見合わせている期間中の学習保障
- ・各種学校行事等のあり方
- ・学校の様子がわからない
- ・就学援助に関する相談など

同居の家族に高齢者がいて、感染させたくない

修学旅行に行きたいけど、感染が心配

学校に行けないから、学校での子どもの様子がわからない

職を失ったから、経済的な援助を受けたい

まとめ①

●現状の分析

- ・現状のデータだけでは、子どもたちのコロナによる影響について正確に把握できない
- ・中長期的には数値としてデータに反映され、課題として表面化する可能性がある



状況把握を継続して行うとともに適切な支援を行う必要がある

まとめ②

●今後の対応

- ・社会経済状況の変化に応じて、刻々と変化する一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行う必要がある。
- ・学校では児童生徒の様子を複数の教職員で情報共有し、協働して指導や支援にあたる必要がある。



<主な対応>

- ・丁寧な子どもへの見守り、子どもの状況の把握
- ・学校への支援の拡充
(支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー等)
- ・区役所等関係機関との連携した対応